医療・介護確保へ 1市4町連携

住み慣れたまちで安心な暮らし

特集　深川　妹背牛　秩父別　北竜　沼田

北竜町で開かれた北空知地域住民フォーラム。大勢の町民らが在宅医療と介護の問題を考えた＝令和元年10月

深川市と妹背牛町、秩父別町、北竜町、沼田町の1市4町は、北空知地域における医療・介護サービスの総合的な提供体制の確保と連携を推進するため、「北空知地域医療介護確保推進協議会」（会長・山下貴史深川市長）を組織。行政と関係機関・団体が協力して、広域連携に関するさまざまな取り組みを進めている。住み慣れたまちで、医療や介護が必要になっても自分らしく安心して暮らすため、地域包括ケアシステム構築を目指し、在宅医療・介護、認知症などの対策に取り組む北空知地域を取材した。

地域でフォーラム 人生の最期考える

秋も深まった令和元年10月27日、同協議会主催の「在宅医療・介護を考える北空知地域住民フォーラムin北竜」が同町公民館で開かれた。参加したのは、一般住民と支援する側の関係者合わせて100人余り。「いずれはみんなに訪れる人生の最期をどう迎えたいか？ どう送りたいか？」をテーマに事例紹介や講演、意見交換などが行われた。

この住民フォーラムは、地域住民に在宅医療と介護を考えてもらうため、平成29年から、協議会を構成する1市4町の持ち回りで毎年開かれているもの。今回は、同協議会の事務局機能を持つ北空知地域医療介護連携支援センターの三ツ井隆博事務局長が、「人口推計や高齢者の状況を分析すると、この地域は道内21の二次医療圏の中で人口減少と少子高齢化がもっとも進んでいる地域なのです」などと現状を説明したあと、深川市立病院の訪問看護師が地域での事例を紹介。

心不全で入退院を繰り返していた夫について、医師からは在宅生活は難しいと言われたが、妻が訪問看護などのサービスを活用しながら最期まで介護し、「家でゆっくり過ごせてよかった」との感想を話してくれたこと、末期がんの一人暮らしの男性が、病院外来、訪問看護、ケアマネジャーなどの連携を得て、できる限り自宅での生活を送った後、緩和ケア病棟で亡くなり、「家でいい時間を過ごすことができた」と感謝された事例などを語った。

ほかに、北竜町で認知症の調査をしている大学教授が認知症予防について講演。参加した一般住民からはアンケートなどで、「本人・家族の意向を尊重して最期をどう過ごすか考えることができた」、「家族としての関わり方が大事で、穏やかに人生を送ることの支えになれることを考える機会になった」、「運動や社会活動への参加が認知症予防につながることが分かった」などの感想が寄せられた。三ツ井事務局長は「近所に住んでいても（終末期にある人たちの）家の中まではわからない。こういった事例を聴くことで住民は心を揺さぶられ、生と死について考えてもらうことができたと思う」と話す。

認知症の事例検討会に多くの専門職らが集まった

連携について語る三ツ井隆博事務局長

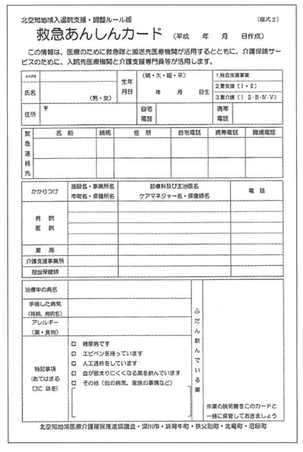
行政と関係団体が協力し協議会設立

同協議会が発足したのは平成28年。介護保険の地域支援事業として在宅医療・介護連携推進事業が国の方針とされ、それまで広域的な問題を検討していた北空知圏振興協議会の民生部会で2年をかけて調査研究・検討を続けた。「その結果、各市町が単独で地域包括ケアシステムを構築していくことは難しく、二次医療圏を構成する1市4町が共同して持続可能な地域医療・介護の提供体制を確保すべきである―との結論に達したのです」と、当時は深川市職員で議論の場の座長を務めた三ツ井事務局長が振り返る。

そこで、1市4町は同年3月、「北空知における地域医療・介護の提供体制の確保と連携に関する協定」を締結。関係市町と保健所、医師会、消防組合、介護サービス事業者などの関係機関・団体で構成する北空知地域医療介護確保推進協議会を設置した。そして、協議会の事務局（広域連携の拠点）機能を持つ北空知地域医療介護連携支援センターを、地域唯一の中核病院である深川市立病院内に設置。同協議会が1市4町から、「在宅医療・介護連携推進事業」と「地域リハビリテーション活動支援事業」を受託する形で、地域における連携の取り組みが始まった。

協議会には、医療・介護情報共有支援、退院調整・在宅生活支援、多職種連携・地域啓発の3部会を設置。これまでに、介護事業所や医療機関、見守り・生活支援サービスなどの社会資源把握とホームページへの掲載、認知症初期集中支援事業の広域実施体制構築、住民パンフレット「住み慣れたまちで安心して暮らすために」の作成・配布、医療・介護関係者の多数回に及ぶ研修、入退院の際に必要な情報の共通ルールづくり、持病・服薬などを記入する「救急あんしんカード」普及などの成果が上がっている。

▶住民への広報用に作成したパンフレット



▶救急隊と搬送先医療機関などが活用する「救急あんしんカード」